

千葉県沿岸域におけるモニュメントの立地特性に関する研究

A Study on Location Characteristics of Monuments In the Coastal Area of Chiba Prefecture

木下 哲人*・中澤 公伯*・鈴木 友理**・對馬 成美***

Tetsuhito KINOSHITA, Kiminori NAKAZAWA, Yuri SUZUKI and Narumi TSUSHIMA

要旨：公園緑地等に設置されるモニュメントは、記念碑及び修景を目的として、公園緑地等のウォーカビリティを高めるストリートファニチュアとして重要な機能を果たしている。特に臨海部に立地する公園緑地等は、都心部に立地するものに比べてアクセシビリティが弱く、イベント開催等の「コト要素」に欠けるため、「モノ要素」としてのモニュメント設置の効果が強く、場や立地との結びつきが求められる。そこで本研究は、千葉県沿岸域に立地する公園緑地等に設置されている 69 基のモニュメントのデザイン特性及び立地特性を調査し、その関係性を分析した。その結果、人口集中地区を後背にする京葉工業地域に半具象形式と抽象形式のモチーフが多く、他の地域では文化を反映した碑等のモチーフが大半を占めた。また丘陵地域は海の眺望や沿岸域の公園の特性をうまく生かしたモニュメントが多く設置されていた。

キーワード：モニュメント、ストリートファニチュア、立地特性、公園緑地

1. はじめに

1.1 研究の背景と目的

本研究は、千葉県沿岸域に立地する公園緑地等に設置されている 69 基のモニュメント（表 1）のデザイン特性及び立地特性を調査分析し、その関係性を分析したものである。公園緑地等の野外にモニュメントが置かれる目的としては、記念碑、修景、構造物への装飾等がある。公園緑地等に設置されるモニュメントは、公園緑地等のウォーカビリティを高めるストリートファニチュアとして重要な機能を果たしている¹⁾。特に臨海部に立地する公園緑地等は、都心部に立地するものに比べて住宅地からのアクセシビリティが弱く、都心部の公園緑地と比べてイベント開催等の「コト要素」が十分でない。そのため、臨海部に立地する公園緑地に設置されるモニュメントは、「モノ要素」としての設置効果が強く、場や立

地との結びつきが求められる。

そこで本研究は、千葉県沿岸域に立地する公園緑地等に設置されている 69 基のモニュメントの特徴及び周辺環境を含む立地特性を調査し（表 2, 表 3）、その関係性を分析・考察することを目的としている。

1.2 既往研究と本研究の位置付け

野外に設置されたモニュメントと設置された場や立地との関係性に着目とした研究としては、モニュメントが都市空間に設置される際の意味的調和の理念を構築しようとしたもの²⁾、駅前広場モニュメントの表現に着目したもの³⁾、阪神淡路大震災を契機とした公園緑地モニュメントの変容に着目したもの⁴⁾、津波碑の実態を調査したもの⁵⁾等がある。モニュメントと設置される場との関係性に着目したものはまだまだ少ない上に、沿岸域を対象としたものは

* 正会員 日本大学生産工学部 創生デザイン学科, ** 非会員 日本大学 生産工学部 創生デザイン学科（調査実施時） *** 学生会員 日本大学生産工学部 創生デザイン学科

表 1 調査対象公園とモニュメント数

市町村	地域特性	名称	調査対象モ ニュメント数
浦安市	京葉工業地域	高洲海浜公園	0
		浦安市総合公園	0
		浦安市墓地公園	0
		日の出第五街区公園	0
		日の出三番瀬沿い緑道	0
		浦安市日の出北公園	0
		美浜公園	0
市川市		塩浜第二公園	0
船橋市		ふなばし三番瀬海浜公園	1
		若松公園	0
習志野市		茜浜緑地	2
		茜浜運動公園	3
		海浜公園	0
千葉市		千葉県立幕張 海浜公園	2
		花見川緑地交通公園	0
		袖ヶ浦第 一緑地	0
		稲毛海浜公園	9
		千葉ポート パーク	6
		蘇我スポーツ公園	1
市原市		養老川臨海公園第一球場	0
袖ヶ浦市	袖ヶ浦海浜公園	2	
木更津市	金田さざなみ 公園	0	
	内港公園	0	
	鳥居崎海浜公園	2	
	木更津潮浜公園	0	
	木更津新港公園	0	
		0	
	富津市	富津市 市民ふれあい公園	0
		富士見グリーンテニス公園	0
		富津みなと公園	0
		富津公園	1
大貫海浜 児童公園		0	
上総湊港 海浜公園		0	
館南町	金谷海浜公園	0	
		0	
南房総市	房総丘陵地域	大房岬 海岸園地	1
		白浜運動広場	0
		野島崎公園	8
		磯笛公園	0
		原地区コミュニティ広場	0
		南房千倉 大橋公園	0
		館山市市民運動場	0
		館山市立博物館分館 渚の博物館	3
		鷹ノ島公園	0
		沖ノ島公園	0
館山市	波左間海中公園	0	
	洲崎児童遊園	0	
	鴨川市	千葉県立鴨川青年の家	0
		鴨川潮さい公園	0
		汐入公園	1
	勝浦市	興津港海浜公園	1
鵜原理想郷ハイキングコース		2	
千葉県立中央博物館分館海の博物館		0	
吉祥寺公園		0	
八幡岬公園		4	
月の沙漠記念公園		1	
御宿町	太東埼灯台	0	
いすみ市	九十九里浜地域	一宮海岸広場	3
一宮町			0
長生村			0
白子町		白子町自然公園	0
大網白里町			0
九十九里町		片貝自然公園運動広場	0
山武市		蓮沼海浜公園	2
横芝光町	九十九里浜自然公園	0	
匝瑺市	海浜地域		0
旭市		潮騒ふれあい公園	1
		飯岡ライオンズ公園	4
		いいおか みなと公園	1
		上永井公園	5
銚子市		君ヶ浜 しおさい公園	3
合計			69基

津波関係のものを除けば皆無である。上述の研究背景に加え、沿岸域の都市的利用増大の見地からも、この種の研究のますますの展開が期待される。本研究は、場や立地との結びつきが求められる沿岸域におけるモニュメントに着目し、その関係性を明らかにしようとしている。

2. 研究方法

2.1 研究対象

2017年12月13日～2019年2月8日の期間、千葉県沿岸域、特に臨海部に面して立地する都市公園及び都市計画区域外公園等の65公園に対し、踏査と写真撮影調査を行い、モニュメントが確認された25公園に存在する69基のモニュメント(表1)に対して、グーグルマップ、市政要覧、新聞などの文献、モニュメント所在地市町村や彫刻家のインターネットホームページ、施工会社、石材屋、モニュメント設立委員会委員長親族様へのヒアリング等により調査を行った。

2.2 モニュメント調査

現地調査に当たり、以下のモニュメントの情報を調査した。「制作者と設置年月日」「素材」「モチーフ」「海岸線からの距離」「モニュメント設置場所の土地被覆」「海への借景」の各デザイン特性である。

2.2.1 制作者と設置年月日

モニュメントの制作者や設置年月日等の情報が銘板等により、鑑賞者に対して、モニュメント付近に明示されているかを調査した。

2.2.2 素材

屋外環境に設置されるため、長期間の耐用が求められるとともに、設置場所周辺の景観とのデザインの対比を考察するため、モニュメントの素材を調査した。

2.2.3 モチーフ

設置される意味が重要な位置付けとなる沿岸域のモニュメントを対象とする本研究において、モチーフあるいは制作意図の明確化は極めて重要である。

モニュメントのモチーフ形式分類項目を文献³⁾を参考にして、また分析対象モニュメントの実態を考慮して「具象・肖像」、「半具象・半抽象」、「抽象・参加型」、「碑・記念物・キャラクター」、「実用型」に設定した(表4)。

表2 沿岸域モニュメント(その1)

1. ふなばし三香灘海浜公園 「虹の子」 管理者 船橋市公園協会  調査日 2018/1/12 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 半貝象・半抽象 設置年月日 1993年3月 設置年月日 不明 海岸線からの距離 120m 素材 石	2. 茜浜緑地① 「不明」 管理者 習志野市スポーツ振興教会  調査日 2018/1/12 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 半貝象・半抽象 設置年月日 不明 海岸線からの距離 20m 素材 コンクリート	3. 茜浜緑地② 「不明」 管理者 習志野市スポーツ振興教会  調査日 2018/1/12 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 半貝象・半抽象 設置年月日 不明 海岸線からの距離 20m 素材 コンクリート	4. 茜浜運動公園① 「不明」 管理者 習志野市スポーツ振興教会  調査日 2018/1/12 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 実用型 設置年月日 不明 海岸線からの距離 30m 素材 コンクリート・ステンレス	5. 茜浜運動公園② 「不明」 管理者 習志野市スポーツ振興教会  調査日 2018/1/12 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 半貝象・半抽象 設置年月日 不明 海岸線からの距離 30m 素材 コンクリート
6. 茜浜運動公園③ 「不明」 管理者 習志野市スポーツ振興教会  調査日 2018/1/12 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 半貝象・半抽象 設置年月日 不明 海岸線からの距離 30m 素材 コンクリート	7. 千葉県立幕張海浜公園① 「不明」 管理者 千葉市  調査日 2018/2/10 背景及び正面が海 無 モチーフ形式 半貝象・半抽象 設置年月日 不明 海岸線からの距離 400m 素材 石・ステンレス	8. 千葉県立幕張海浜公園② 「不明」 管理者 千葉市  調査日 2018/2/10 背景及び正面が海 無 モチーフ形式 半貝象・半抽象 設置年月日 不明 海岸線からの距離 400m 素材 石・ステンレス	9. 稲毛海浜公園① 「2002FIFAワールドカップ アイルランドキャンプ記念」 管理者 株式会社ワールドパーク  調査日 2018/2/14 背景及び正面が海 無 モチーフ形式 半貝象・半抽象 設置年月日 2002年1月 設置年月日 不明 海岸線からの距離 150m 素材 石	10. 稲毛海浜公園② 「ふれあい」 管理者 株式会社ワールドパーク  調査日 2018/2/14 背景及び正面が海 無 モチーフ形式 抽象・参加型 設置年月日 1987年10月 設置年月日 不明 海岸線からの距離 60m 素材 石・ステンレス
11. 稲毛海浜公園③ 「不明」 管理者 株式会社ワールドパーク  調査日 2018/2/14 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 抽象・参加型 設置年月日 1988年 設置年月日 不明 海岸線からの距離 230m 素材 石	12. 稲毛海浜公園④ 「浜辺の情景」 管理者 株式会社ワールドパーク  調査日 2018/2/14 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 半貝象・半抽象 設置年月日 1988年 設置年月日 不明 海岸線からの距離 20m 素材 石・ブロンズ	13. 稲毛海浜公園⑤ 「不明」 管理者 株式会社ワールドパーク  調査日 2018/2/8 背景及び正面が海 無 モチーフ形式 半貝象・半抽象 設置年月日 昭和59年10月6日 設置年月日 不明 海岸線からの距離 160m 素材 鉄・ステンレス	14. 稲毛海浜公園⑥ 「姉妹クラブ締結十周年記念」 管理者 株式会社ワールドパーク  調査日 2018/2/8 背景及び正面が海 無 モチーフ形式 半貝象・半抽象 設置年月日 昭和63年6月28日 設置年月日 不明 海岸線からの距離 180m 素材 石	15. 稲毛海浜公園⑦ 「不明」 管理者 株式会社ワールドパーク  調査日 2018/2/8 背景及び正面が海 無 モチーフ形式 記念碑・キャラクター 設置年月日 昭和62年10月18日 設置年月日 不明 海岸線からの距離 180m 素材 石
16. 稲毛海浜公園⑧ 「天」 管理者 株式会社ワールドパーク  調査日 2018/2/8 背景及び正面が海 無 モチーフ形式 半貝象・半抽象 設置年月日 昭和59年3月 設置年月日 不明 海岸線からの距離 70m 素材 石・ブロンズ	17. 稲毛海浜公園⑨ 「磯の松原」 管理者 株式会社ワールドパーク  調査日 2018/2/8 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 碑・記念碑・キャラクター 設置年月日 昭和56年 設置年月日 不明 海岸線からの距離 20m 素材 石・コンクリート	18. 千葉ポートパーク① 「不明」 管理者 株式会社塚原緑地研究所  調査日 2018/2/15 背景及び正面が海 無 モチーフ形式 実用型 設置年月日 不明 設置年月日 不明 海岸線からの距離 138m 素材 鉄・ステンレス	19. 千葉ポートパーク② 「トーマスボール」 管理者 株式会社塚原緑地研究所  調査日 2018/2/15 背景及び正面が海 無 モチーフ形式 碑・記念碑・キャラクター 設置年月日 不明 設置年月日 不明 海岸線からの距離 200m 素材 木	20. 千葉ポートパーク③ 「7月の広場」 管理者 株式会社塚原緑地研究所  調査日 2018/2/15 背景及び正面が海 無 モチーフ形式 抽象・参加型 設置年月日 不明 設置年月日 不明 海岸線からの距離 106m 素材 コンクリート・タイル・ステンレス
21. 千葉ポートパーク④ 「不明」 管理者 株式会社塚原緑地研究所  調査日 2018/2/15 背景及び正面が海 無 モチーフ形式 抽象・参加型 設置年月日 不明 設置年月日 不明 海岸線からの距離 201m 素材 石	22. 千葉ポートパーク⑤ 「夏」 管理者 株式会社塚原緑地研究所  調査日 2018/2/15 背景及び正面が海 無 モチーフ形式 具象・肖像 設置年月日 不明 設置年月日 不明 海岸線からの距離 130m 素材 石・ブロンズ	23. 千葉ポートパーク⑥ 「不明」 管理者 株式会社塚原緑地研究所  調査日 2018/2/15 背景及び正面が海 無 モチーフ形式 抽象・参加型 設置年月日 不明 設置年月日 不明 海岸線からの距離 266m 素材 石	24. 新我スポーツ公園 「高戸モニュメント」 管理者  調査日 2018/2/17 背景及び正面が海 無 モチーフ形式 碑・記念碑・キャラクター 設置年月日 2008年10月 設置年月日 不明 海岸線からの距離 515m 素材 鉄・ステンレス	25. 袖ヶ浦海浜公園① 「不明」 管理者 株式会社塚原緑地研究所  調査日 2018/2/17 背景及び正面が海 無 モチーフ形式 碑・記念碑・キャラクター 設置年月日 不明 設置年月日 不明 海岸線からの距離 9m 素材 石
26. 袖ヶ浦海浜公園② 「不明」 管理者 株式会社塚原緑地研究所  調査日 2018/2/17 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 碑・記念碑・キャラクター 設置年月日 不明 設置年月日 不明 海岸線からの距離 46m 素材 石	27. 鳥居崎海浜公園① 「木更津甚句記念碑」 管理者 大和リース株式会社  調査日 2018/3/19 背景及び正面が海 無 モチーフ形式 具象・肖像 設置年月日 1997年12月6日 設置年月日 不明 海岸線からの距離 7m 素材 ブロンズ	28. 鳥居崎海浜公園② 「恋人の聖地」 管理者 大和リース株式会社  調査日 2018/3/19 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 半貝象・半抽象 設置年月日 2010年 設置年月日 不明 海岸線からの距離 16m 素材 石	29. 富津公園 「不明」 管理者 千葉県街づくり公社  調査日 2018/3/20 背景及び正面が海 無 モチーフ形式 碑・記念碑・キャラクター 設置年月日 昭和30年4月4日 設置年月日 不明 海岸線からの距離 282m 素材 石	30. 大原海岸団地 「大原山掛下記念碑」 管理者  調査日 2018/3/27 背景及び正面が海 無 モチーフ形式 碑・記念碑・キャラクター 設置年月日 1955年12月 設置年月日 不明 海岸線からの距離 141m 素材 石
31. 館山市立博物館分館 港の博物館① 「焼玉エンジン」 管理者 館山市立博物館本館  調査日 2018/5/14 背景及び正面が海 無 モチーフ形式 碑・記念碑・キャラクター 設置年月日 不明 設置年月日 不明 海岸線からの距離 2m 素材 鉄	32. 館山市立博物館分館 港の博物館② 「不明」 管理者 館山市立博物館本館  調査日 2018/5/14 背景及び正面が海 無 モチーフ形式 碑・記念碑・キャラクター 設置年月日 不明 設置年月日 不明 海岸線からの距離 67m 素材 鉄	33. 館山市立博物館分館 港の博物館③ 「恋人の聖地」 管理者 館山市立博物館本館  調査日 2018/5/14 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 碑・記念碑・キャラクター 設置年月日 不明 設置年月日 不明 海岸線からの距離 65m 素材 FRP	34. 野島崎公園① 「NOJIMAZAKI BENCH」 管理者 南房総市  調査日 2018/3/29 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 抽象・参加型 設置年月日 1991年 設置年月日 不明 海岸線からの距離 63m 素材 石	35. 野島崎公園② 「NOJIMAZAKI BENCH」 管理者 南房総市  調査日 2018/3/29 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 抽象・参加型 設置年月日 1991年 設置年月日 不明 海岸線からの距離 72m 素材 石

表3 沿岸域モニュメント(その2)

36. 野島崎公園③ 「21世紀へかっぴくん」 管理者 南房総市  調査日 2018/3/29 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 半具象・半抽象 設置年月日 不明 海岸線からの距離 19m 素材 石・ステンレス・FRP	37. 野島崎公園④ 「砂の女トルソ No.1」 管理者 南房総市  調査日 2018/3/29 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 半具象・半抽象 設置年月日 不明 海岸線からの距離 45m 素材 石	38. 野島崎公園⑤ 「砂の女トルソ No.2」 管理者 南房総市  調査日 2018/3/29 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 半具象・半抽象 設置年月日 不明 海岸線からの距離 51m 素材 石	39. 野島崎公園⑥ 「房州白浜ライオンズクラブ 十周年記念事業」 管理者 南房総市  調査日 2018/3/29 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 実用的 設置年月日 1978年1月 海岸線からの距離 76m 素材 コンクリート	40. 野島崎公園⑦ 「若い海女」 管理者 南房総市  調査日 2018/3/29 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 具象・肖像 設置年月日 不明 海岸線からの距離 86m 素材 ブロンズ
41. 野島崎公園⑧ 「房総半島最南端の碑」 管理者 南房総市  調査日 2018/3/29 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 碑・記念碑・キャラクター 設置年月日 59m 海岸線からの距離 59m 素材 石	42. 汐入公園 「不明」 管理者  調査日 2018/3/29 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 碑・記念碑・キャラクター 設置年月日 昭和55年3月吉日 海岸線からの距離 95m 素材 石	43. 興津港海浜公園 「船舶柱碑」 管理者 勝浦市興津環境整備促進協議会  調査日 2018/3/29 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 碑・記念碑・キャラクター 設置年月日 不明 海岸線からの距離 25m 素材 石	44. 鶴原理想郷ハイキングコース① 「鈴付きデザインベンチ」 管理者  調査日 2018/3/29 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 抽象・参加型 設置年月日 不明 海岸線からの距離 14m 素材 石・ステンレス	45. 鶴原理想郷ハイキングコース② 「熊田修二郎の句碑」 管理者  調査日 2018/3/29 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 碑・記念碑・キャラクター 設置年月日 不明 海岸線からの距離 98m 素材 石
46. 八幡岬公園① 「不明」 管理者 勝浦市環境協会  調査日 2018/3/29 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 抽象・参加型 設置年月日 不明 海岸線からの距離 67m 素材 石	47. 八幡岬公園② 「不明」 管理者 勝浦市環境協会  調査日 2018/3/29 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 抽象・参加型 設置年月日 不明 海岸線からの距離 67m 素材 石	48. 八幡岬公園③ 「忠霊塔」 管理者 勝浦市環境協会  調査日 2018/3/29 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 碑・記念碑・キャラクター 設置年月日 平成28年3月 海岸線からの距離 70m 素材 石	49. 八幡岬公園④ 「養珠院於萬の万」 管理者 勝浦市環境協会  調査日 2018/3/29 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 具象・肖像 設置年月日 昭和63年4月吉日 海岸線からの距離 57m 素材 石・ブロンズ	50. 月の沙浜記念公園 「月の沙浜記念像」 管理者 御宿町  調査日 2018/3/29 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 具象・肖像 設置年月日 1969年7月吉日 海岸線からの距離 158m 素材 ブロンズ
51. 一宮海岸広場① 「大塚史氏顕彰記念碑」 管理者 一宮まちづくり推進課  調査日 2018/4/12 背景及び正面が海 無 モチーフ形式 碑・記念碑・キャラクター 設置年月日 平成27年7月吉日 海岸線からの距離 202m 素材 石	52. 一宮海岸広場② 「旧友知己相計り碑」 管理者 一宮まちづくり推進課  調査日 2018/4/12 背景及び正面が海 無 モチーフ形式 碑・記念碑・キャラクター 設置年月日 昭和56年春 海岸線からの距離 226m 素材 石	53. 一宮海岸広場③ 「芥川龍之介 愛の碑」 管理者 一宮まちづくり推進課  調査日 2018/4/12 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 碑・記念碑・キャラクター 設置年月日 昭和49年10月8日 海岸線からの距離 227m 素材 石	54. 蓮沼海浜公園① 「不明」 管理者 千葉県レクリエーション都市開発株式会社  調査日 2018/4/12 背景及び正面が海 無 モチーフ形式 実用型 設置年月日 不明 海岸線からの距離 381m 素材 ステンレス・ブロンズ	55. 蓮沼海浜公園② 「開拓記念碑」 管理者 千葉県レクリエーション都市開発株式会社  調査日 2018/4/12 背景及び正面が海 無 モチーフ形式 碑・記念碑・キャラクター 設置年月日 不明 海岸線からの距離 365m 素材 石
56. 潮騒ふれあい広場 「飯岡海岸護岸竣工碑」 管理者  調査日 2018/4/29 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 半具象・半抽象 設置年月日 平成12年5月29日 海岸線からの距離 98m 素材 石	57. 飯岡ライオンズ公園① 「旭市飯岡津波被災の碑」 管理者  調査日 2018/4/29 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 碑・記念碑・キャラクター 設置年月日 2013年2月10日 海岸線からの距離 131m 素材 石	58. 飯岡ライオンズ公園② 「碑」 管理者  調査日 2018/4/29 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 碑・記念碑・キャラクター 設置年月日 不明 海岸線からの距離 131m 素材 石	59. 飯岡ライオンズ公園③ 「ちばてつやが育った街」 管理者  調査日 2018/4/29 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 碑・記念碑・キャラクター 設置年月日 平成13年2月吉日 海岸線からの距離 123m 素材 石	60. 飯岡ライオンズ公園④ 「ちばてつやが育った街」 管理者  調査日 2018/4/29 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 碑・記念碑・キャラクター 設置年月日 平成13年2月吉日 海岸線からの距離 123m 素材 石
61. いいおかみなと公園 「飯岡漁港開港 35周年記念碑」 管理者  調査日 2018/4/29 背景及び正面が海 無 モチーフ形式 碑・記念碑・キャラクター 設置年月日 平成16年2月吉日 海岸線からの距離 103m 素材 石	62. 上永井公園① 「ちばてつやが育った街」 管理者 株式会社アマラン  調査日 2018/4/29 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 碑・記念碑・キャラクター 設置年月日 平成13年2月吉日 海岸線からの距離 110m 素材 石	63. 上永井公園② 「ちばてつやが育った街」 管理者 株式会社アマラン  調査日 2018/4/29 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 碑・記念碑・キャラクター 設置年月日 平成13年2月吉日 海岸線からの距離 145m 素材 石	64. 上永井公園③ 「沖繩飯岡友好交流記念碑」 管理者 株式会社アマラン  調査日 2018/4/29 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 碑・記念碑・キャラクター 設置年月日 平成16年5月吉日 海岸線からの距離 120m 素材 石	65. 上永井公園④ 「希望の鐘」 管理者 株式会社アマラン  調査日 2018/4/29 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 抽象・参加型 設置年月日 2018年2月17日 海岸線からの距離 72m 素材 ステンレス・ブロンズ
66. 上永井公園⑤ 「打ち上げ花火、下から見るか？ 横から見るか？」 若井俊二監督作品 映画ロケ地記念碑 管理者 株式会社アマラン  調査日 2018/4/29 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 碑・記念碑・キャラクター 設置年月日 不明 海岸線からの距離 72m 素材 アクリル・ステンレス	67. 君ヶ浜しおさい公園① 「日の出のモニュメント」 管理者 銚子市、犬吠崎  調査日 2018/4/29 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 抽象・参加型 設置年月日 不明 海岸線からの距離 55m 素材 石	68. 君ヶ浜しおさい公園② 「不明」 管理者 銚子市、犬吠崎  調査日 2018/4/29 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 碑・記念碑・キャラクター 設置年月日 平成11年3月吉日 海岸線からの距離 77m 素材 石	69. 君ヶ浜しおさい公園③ 「涙痕之碑」 管理者 銚子市、犬吠崎  調査日 2018/4/29 背景及び正面が海 有 モチーフ形式 碑・記念碑・キャラクター 設置年月日 明治22年 海岸線からの距離 85m 素材 石	

表 4 モチーフの形式分類項目

モチーフ形式	形式分類項目の定義	事例
具象・肖像	・現実の事物を人間の視覚に即して、ありのままに再現したもの ・歴史上の人物、地域に功績のあった人物など特定の人物の容貌、姿態などを写し取ったもの(空想上の人物表現も含む)	27. 鳥居崎海浜公園「木更津基句記念碑」 49. 八幡岬公園「お万の像」
半具象・半抽象	・ある事物が単純化され表現されたもの	1. ふなばし三番瀬海浜公園「虹の子」 12. 稲毛海浜公園「浜辺の情景」
抽象・参加型	・ある事物から本質的なものの、特徴的な表徴を引き出したもの ・鑑賞者がモニュメントに参加可能なもの	10. 稲毛海浜公園「ふれあい」 65. 上永井公園「希望の鐘」
碑・記念物・キャラクター	・歌碑・由来板など文字で表されているもの ・実際に使用されていたものがモニュメント化されたもの ・ご当地のキャラクターや出身地である原作者のキャラクターを再現したもの	17. 稲毛海浜公園「磯の松原」 24. 蘇我スポーツ公園「高炉モニュメント」 62. 上永井公園「ちばてつやが育った街」
実用型	モニュメントとして制作された実用物	4. 茜浜運動公園「小さな船」小さな船の形になっており、遊具になっている 18. 千葉ポートパーク「橋」人工池の橋になっている

2.2.4 海岸線からの距離

モニュメントの海との関係性を把握するために、海岸線とモニュメントの距離を、グーグルマップを参照し計測した。

2.2.5 モニュメント設置場所の土地被覆

モニュメント設置場所周辺の状況とモニュメントのデザイン特性との関係性を把握するため、モニュメント設置場所の土地被覆状況を調査した。

2.2.6 海への借景

モニュメントの方位を確認し、海を借景としているモニュメントを調査した。「借景」とはモニュメントの向きが海に対して正面を向いている、あるいは背景となる向きに建立され、視界に海が入るモニュメントを定義した。また「海が見える」モニュメントとは建立位置からは海が見えるが、海との正面性がないものや、背景にしていらないものを示し、区別して調査を行った。

2.3 人口

国土交通省数値情報、4次メッシュ将来推計人口(平成29年)、千葉県版を使用した。

2.4 地形

国土交通省数値情報、5次メッシュ標高、千葉県版を使用した。

3. 調査結果

3.1 制作者と設置年月日

モニュメント鑑賞者に対して、モニュメントの情報が表示されている、またはそれらの記載した銘板が付随しているものは69基中45基で、65.2%の割合であった。作者の記載は27.5%。設置日の記載は55.1%と約半数であった(表5)。沿岸域モニュメントに関する情報開示の少なさが目立つ結果となっている。

表 5 銘板の有無と記載情報の割合

	記載有(基)	記載有比率(%)
名称	45	65.2%
作者	19	27.5%
企画者	37	53.6%
設置日	38	55.1%

表 6 モニュメントの素材

素材	モニュメント数(基)	素材細分類	基数
石	50	石	50
金属	25	ステンレス	12
		ブロンズ	9
		鉄	4
コンクリート(モルタル)	8	コンクリート(モルタル)	8
その他	5	FRP	2
		木	1
		タイル	1
		アクリル	1

表 7 モチーフの形式分類結果

モチーフ形式	基数	比率(%)
具象肖像	5	7.2%
半具象半抽象	17	24.6%
抽象参加型	13	18.8%
碑・記念物・キャラクター	30	43.5%
実用物	4	5.8%

表8 モニュメントと海岸線からの距離

海岸線からの距離 (m)	0～100	～200	～300	～400	～500	500～
比率 (%) (基)	55.1% (38)	26.1% (18)	11.6% (8)	2.9% (2)	2.9% (2)	1.4% (1)

表9 モニュメント設置場所の土地被覆素材と基数

種類	基数	割合%
芝	25	32.9%
緑地	16	21.1%
インターロッキング	10	13.2%
花壇内	6	7.9%
コンクリート	6	7.9%
土	4	5.3%
石	3	3.9%
砂浜	2	2.6%
岩場	2	2.6%
小石	1	1.3%
池	1	1.3%

表10 海への借景

海との関係性	モニュメントの比率 (%)	モニュメント 数(基)
海に対し正面・背景	55.1%	38
海が見える	5.8%	4
全く見えない	39.1%	27

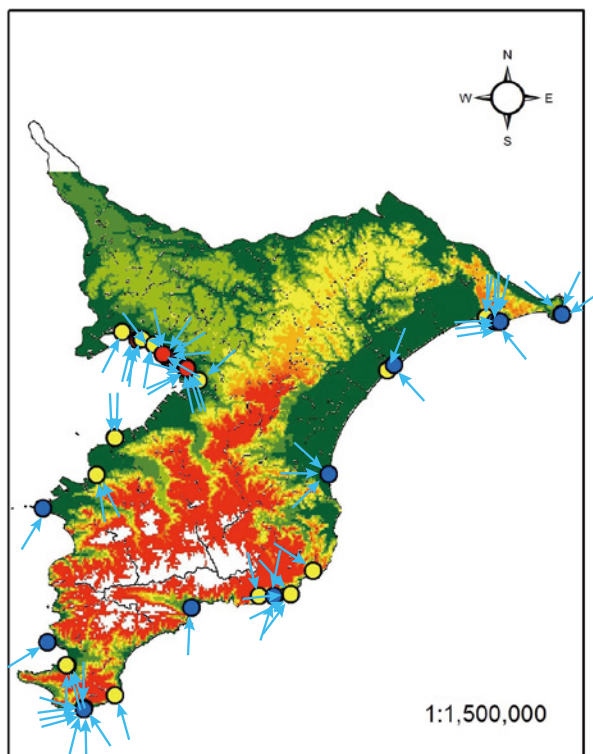


図1 モニュメントの向き

3.2 素材

モニュメントに使用されている素材を調べた(表6)。調査対象で確認できた素材は、石、ステンレス、ブロンズ、鉄、コンクリート(モルタル含む)、FRP、木、タイル、アクリル板であった。発現数は1種類の素材で構成されたものが52基、2種類が15基、3種類が2基確認され、それらの合計88基で表6と表11を制作した。小島⁶⁾によると、1万101件中のモニュメントにおける素材量的分布は、金属が62%、石材が33.4%であったと報告している。また、水嶋ら³⁾によると、駅前広場におけるモニュメントの素材の発現比率は金属が56.1%と最も多く、次いで石材34.8%、その他9.0%とある。それに対し、沿岸域のモニュメントの金属の発現比率は28.4%(25基)石材は56.8%(50基)と金属と石材の比率が逆転している。沿岸域におけるモニュメントの特徴であると考えた。

3.3 モチーフ

モチーフの発現数は「碑・記念物・キャラクター」が最も多く、30基、43.5%、次いで「半具象・半抽象」が17基、24.6%であった(表7)。「碑・記念物・キャラクター」としては表2の15、17、19のような周辺地域の文化や歴史を反映した作品が多くみられる。例えば表2、24.蘇我スポーツ公園「高炉モニュメント」(写真1)は過去にその場で使用されていた高炉がモニュメントとしてリプロダクトされており、元来この地に製鉄工場があったことを伝え、現在も公園使用者に土地の歴史や文化を伝えている。

3.4 モニュメントの海岸からの距離

海岸線とモニュメントの距離をグーグルマップより計測した。沿岸域に立地する公園を対象としているということもあり、海岸線から100m以下に設置されるモニュメントが38基と半数以上確認された。調査した全てのモニュメントの海岸線からの距離の平均値は121.43mであった(表8)。

3.5 モニュメント設置場所の土地被覆

モニュメント設置場所の土地被覆状況を調べた(表9)。1種類で構成されている被覆材質は62基であり、2種類の被覆材質から構成されているモニュメントが7基確認されたので表7の合計数は76基で表した。また緑地とは芝以外の草地の総称とした。

3.6 海への借景

図1には、モニュメントが向いている方角を示した。矢印が指している向きがモニュメントの正面を示している。沿岸域に設置する際に、モニュメントに対し、海を意識して設置されているかは、沿岸域のデザイン特性を生かす重要なポイントだと考えたからである。モニュメントが設置されている場所から海が見えるかどうかを踏査調査で現場確認を行った(表10)。69基中、モニュメントの設置場所から視界に海が確認されたモニュメントは41基であった。海を意識して設置されているか否かは「正面及び背面に設置しているか」とした。その結果、海を正面又は背景として視界に絡む条件下のモニュメントは69基中、37基(53.6%)であった。正面、背面性はないが、設置場所から海がかるうじて望めるモニュメントは4基5.8%であった。

3.7 モニュメント事例とヒアリング

沿岸域環境を取り入れたモニュメントの代表事例として表3、67君ヶ浜しおさい公園(銚子市)のモニュメント「日の出のモニュメント(制作:宗政浩二)」を取り上げ、制作関係者に制作意図をヒアリングした。このモニュメントは元日の朝太陽が昇り、犬吠埼灯台の真上に差し掛かると陽光が石の間をすり抜ける一筋の光となり、石板のポイントに向かって投影される仕組みとなっており、1年に1回の日時計がコンセプトとなっている。日本一早い日の出の町をアピールする碑がほしい町の要望に、制作会社が彫刻家の宗政浩二氏に相談し、数案から協議の上、環境や景観を巻き込んだモニュメントで町の要望に答えたモニュメントである(写真2)。このように、周辺の地形や環境の取り込みを意図したデザ



写真1 高炉モニュメント

写真2 日の出のモニュメント

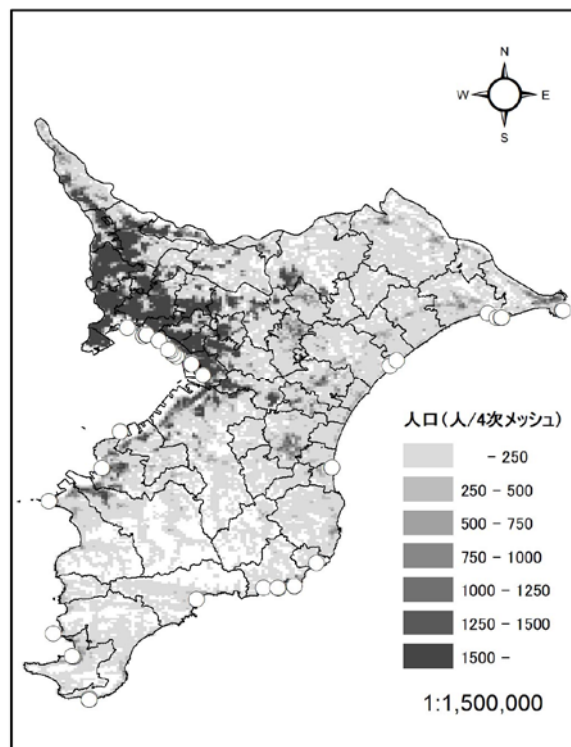


図2 人口分布とモニュメント

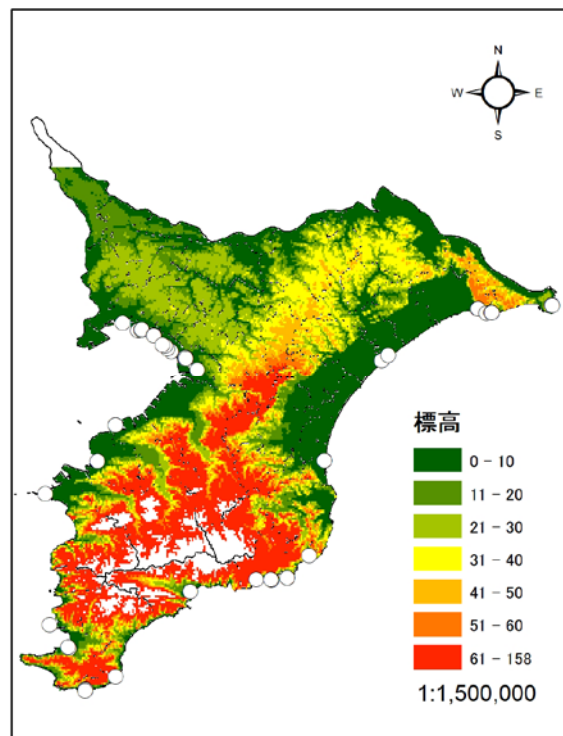


図3 地形とモニュメント

インのモニュメントも存在しており、以下で実際に地域特性とデザイン特性に関係があるのかを明らかにしていく。

3.8 人口分布とモニュメント

図2には、モニュメントの立地と人口分布の状況

を示した。モニュメントは、浦安市～市原市の人口集中地区を持つ京葉工業地域に 24 基が集積している。残りの 45 基は、内房地域から外房地域の人口希薄地域に広く分布している。また石碑タイプの 19 基は、富津岬から犬吠埼まで、太平洋により近い地域に分布している。

3.9 地形とモニュメント

図 3 には、地形とモニュメント分布の状況を示した。京葉工業地域に分布する 24 基以外の残りは、房総丘陵(26 基)や高神愛宕山(14 基)を背にする地域に分布しており、海と山双方をランドスケープアイテムとする公園に設置されている。九十九里浜の沿岸域は標高が低い砂浜になっており、広く海水浴場になっている。その為調査対象である緑地や公園があまり存在せず、それに従いモニュメント数も少ない結果となった(5 基)。

4. モニュメントの立地とデザイン特性

人口・地形とモニュメント立地との関係性から、対象とした地域を浦安市～市原市の人口集中地区を後背にする京葉工業地域(以降、京葉工業地域)、袖ヶ浦市～いすみ市まで房総半島中南部に広がる房総丘陵地域(以降、房総丘陵地域)、一宮町～横芝光町までの九十九里浜地域(以降、九十九里浜地域)、高神愛宕山や銚子の丘陵を含む海匝地域(以降、海匝地域)の 4 地域に分類し、地域ごとにモニュメントのデザイン特性を比較、検証を行った。

また、図 4、図 5、図 6、図 7、図 8 は、各デザイン特性でカテゴライズしたモニュメントをマップ上に視覚化したものである。

4.1 モニュメントの立地と素材

表 11 は、地域別にモニュメントの素材の関係性を比較したものである。3.2 章でも述べたように、金属よりも石を素材として製作されたものが多いのが沿岸域モニュメントの特徴である。地域別に比較すると人口集中地域の京葉工業地域においては、各素材がバランスよく使用されているが、その他の地域は房総丘陵地域 63.3%、九十九里浜地域 66.7%、海匝地域 75.0%とより多くの割合で石が使用されていることがわかった。

表 11 立地とモニュメント素材

	石	金属	コンクリート・モルタル	その他
京葉工業地域 %(基)	41.7%(15)	33.3%(12)	19.4%(7)	5.6%(2)
房総丘陵地域 %(基)	63.3%(19)	26.7%(8)	3.3%(1)	6.7%(2)
九十九里浜地域 %(基)	66.7%(4)	33.3%(2)	—	—
海匝地域 %(基)	75.0%(12)	18.8%(3)	—	6.2%(1)

表 12 立地とモチーフ形式

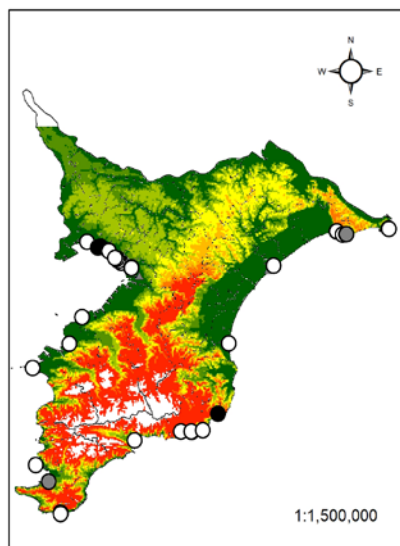
	具象・肖像	半具象・半抽象	抽象・参加型	碑・記念物・キャラクター	実用物
京葉工業地域 %(基)	4.2%(1)	50.0%(12)	20.8%(5)	16.7%(4)	8.3%(2)
房総丘陵地域 %(基)	15.4%(4)	15.4%(4)	23.1%(6)	42.3%(11)	3.8%(1)
九十九里浜地域 %(基)	—	—	—	80.0%(4)	20.0%(1)
海匝地域 %(基)	—	7.1%(1)	14.3%(2)	78.6%(11)	—

表 13 立地と海岸線からの距離と平均値

海岸線からの距離 (m)	0～100	～200	～300	～400	～500	500～	平均 (m)
京葉工業地域 %(基)	37.5%(9)	33.3%(8)	16.7%(4)	—	8.3%(2)	4.2%(1)	153.1
房総丘陵地域 %(基)	88.5%(23)	7.7%(2)	3.8%(1)	—	—	—	65.5
九十九里浜地域 %(基)	—	—	60.0%(3)	40.0%(2)	—	—	280
海匝地域 %(基)	42.9%(6)	57.1%(8)	—	—	—	—	103.2

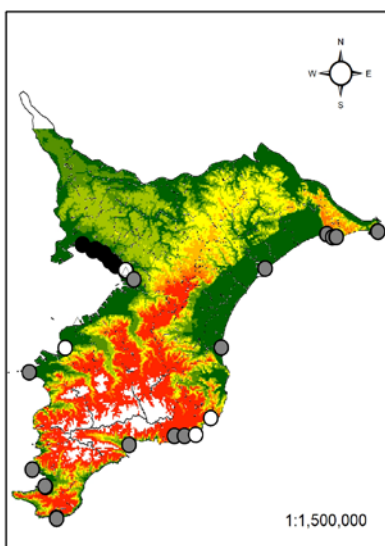
表 14 立地と海への借景

	まったく見えない	海が見える	海が正面・背景
京葉工業地域 %(基)	62.5%(15)	4.2%(1)	33.3%(8)
房総丘陵地域 %(基)	23.1%(6)	7.7%(2)	69.2%(18)
九十九里浜地域 %(基)	100%(5)	—	—
海匝地域 %(基)	7.1%(1)	7.1%(1)	85.7%(12)



○石 ●コンクリート・モルタル
▲金属 ●その他（木・FRP）

図4 モニュメントの立地と素材



○具象・肖像 ●半具象・半肖像
▲抽象 ●碑・記念物・キャラクター
△実用物・参加型

図5 モニュメントの立地とモチーフ

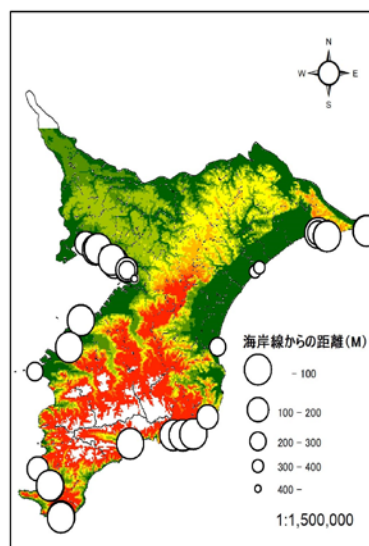
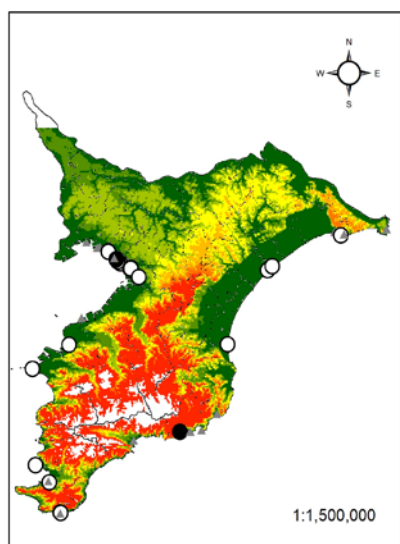
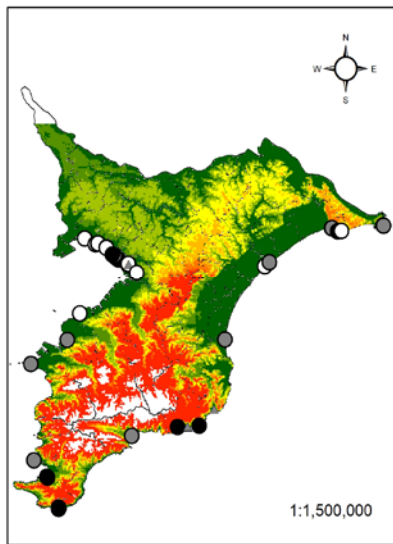


図6 モニュメントの立地と海岸線からの距離



○なし ●海が見える▲正面・背景が海

図7 モニュメントの立地と借景



○芝生・低木●コンクリート・インターロッキング・石
▲砂地・土・池・岩場 ●緑地

図8 モニュメントの立地と土地被覆

4.2 モニュメントの立地とモチーフ形式

表12は地域別にモニュメントのモチーフ形式を比較したものである。「半具象・半抽象」及び「抽象・参加型」モチーフは京葉工業地域に17基が集中しており、京葉工業地域のモチーフ形式の70.8%を占めた。他の地域と比較すると人口集中地区に「半具象・半抽象」及び「抽象・参加型」モチーフは受け入れられていることがうかがえる。その他の地域は「具象・肖像」「碑・記念物・キャラクター」「実用物」モチーフのモニュメントが半数以上を占めていた。九十九里浜地域、海匝地域は「碑・記念物・キャラクター」モチーフがそれぞれ80.0%、78.6%と高い

ことから、3.3で述べたように、地域の文化や歴史を強く反映するモニュメントが多く比率を占めていることがわかった。

4.3 モニュメントの立地と海岸線からの距離

表13は地域別にモニュメント設置場所の海岸線からの距離を比較したものである。京葉工業地域では、広くモニュメントが設置されているが、海岸線から0m～200mまでの位置に70%のモニュメントが設置されており、海岸線から遠くなるほど設置の割合も小さくなっている。房総丘陵地域では、他の地域よりも比較的海岸線に近い位置にモニュメントが

設置されており、0m～100mの位置に88%のモニュメントが設置されていることが分かった。九十九里浜地域では、他の地域よりも全体的に内陸に設置されている。海匝地域では、0m～200mの間にしか設置されておらず、海岸線からの平均距離は103mであった。房総丘陵地域、海匝地域は土地が全体的に高く、公園緑地となる土地が限定されてしまうことが一因となることが考察される。

4.4 モニュメントの立地と海への背景

表14は上記3.6章で述べたモニュメントの向きをもとに、海を意識して設置されているモニュメントの比率を地域別に比較し検証したものである。京葉工業地域は海を借景としているモニュメントが33.3%であるのに対し、房総丘陵地域は69.2%となっており、逆の数値となった。海匝地域は海を借景として捉え、景観をいかしているモニュメントが85.7%と比率が高かった。房総丘陵地域と海匝地域は起伏が激しい土地であるため、海が望みやすく、借景にしやすいと考える。

4.5 モニュメントの立地と設置個所の土地被覆

表15は地域別にモニュメント設置個所の土地被覆を比較したものである。京葉工業地域の沿岸域は埋立地が多く、被覆材質に緑地と岩場は存在しないが、房総丘陵地域まで芝生が多数を占めており、モニュメントの周辺環境が整備されている状況がうかがえる。九十九里浜地域と海匝地域は自然の環境を生かした緑地が土壌の被覆素材として多く選ばれている。

5. おわりに

以上本研究は、千葉県沿岸域に設置されているモニュメントのデザイン特性及び立地特性を調査し、その関係性を分析した。得られた知見を以下にまとめる。

・半具象・半抽象と抽象・参加型をモチーフとするモニュメントは全30基中、人口集中地区を後背にす

る京葉工業地域に17基が配置されており(56.7%)、全体のモチーフ形式と比較しても24.6%を占める。その他の地域は碑・記念物・キャラクター、実用物といったモチーフが大半を占める(房総丘陵地域46.2%、九十九里浜地域100%、海匝地域78.6%)。半具象や抽象モチーフを受け入れるには、それなりの(ある程度の人口を擁する地域)バックグラウンドが必要であることがうかがえる。一方で房総丘陵地域、九十九里浜地域、海匝地域は碑や記念物が多いことから文化的背景をモニュメントに反映していることがわかる。

・房総丘陵地域では、88.5%のモニュメントが海岸線から100m以内に設置されており、また69.2%のモニュメントが海を借景としている。海との関係性が非常に高いことがうかがえる。房総丘陵地域は起伏が激しい土地であるため、標高があり、海が見えやすいことも影響しているのではないかと。

・京葉工業地域及び房総丘陵地域の半数のモニュメントは、芝生に設置されており、モニュメントが公園の一部として一体化しているが、九十九里浜地域や海匝地域では、様々な土地被覆素材の上に設置されている。土地そのものや高低差等、沿岸域の地形をうまく生かしたモニュメントが設置されている(写真3)。

これまでみてきたとおり、房総丘陵地域、海匝地域といった丘陵地域には海の眺望や沿岸域の公園の特性をうまく生かしたモニュメントが多く設置されていることが判明した。他方、京葉工業地域や九十九里浜地域では、地域の特徴から海を借景とすることが難しく、デザインも抽象化しており、海との関係性を感じられない。デザイナーは場や地域の空間的特徴を意識的に捉え、モニュメントのデザインに反映させることが肝要であると考えられる。

今後は3次元的な立地特性を探るなど、デザインの背景となる特性を調べてゆきたい。また太平洋側と日本海側との比較といった、日本国内における沿岸域モニュメントの地域特性も調べてゆきたい。

表15 地域別モニュメント設置個所の土地被覆素材

地域特性	芝生・低木・花壇	コンクリート・インターロッキング	砂地・土・池・岩場	緑地
京葉工業地域 % (基)	54.2%(13)	25.0%(6)	20.8%(5)	—%(0)
房総丘陵地域 % (基)	46.2%(12)	23.1%(6)	15.4%(4)	15.4%(4)
九十九里浜地域 % (基)	20.0%(1)	—%(0)	—%(0)	80.0%(4)
海匝地域 % (基)	28.6%(4)	21.4%(3)	—%(0)	50.0%(7)



写真3 上永井公園「鐘」(旭市)

謝辞

モニュメントの聞き取り調査では株式会社タウンアート、株式会社石兼組、白石正文・千恵子夫妻、勝浦市役所観光商工課にご協力いただいたことを付記し、謝意を表します。

引用・参考文献

- 1) 小嶋彰：スペースブランディング、街づくり，商業施設づくりのバイブル，商業界，p. 271，2010
- 2) 柴田恵子・斎藤潮・中村良夫：都市デザインにおけるオブジェの意義に関する基礎的研究，造園雑誌，53（5），pp. 329－334，1990
- 3) 水嶋克典・安保文華・糸井孝雄：駅前広場モニュメントの表現構造についての基礎的研究，日本建築学会計画系論文集，第585号，pp. 133－140，2004
- 4) 石崎奈美・福井亘・斉藤庸平：阪神淡淡路大震災を契機とした公園緑地における野外彫刻設置の変容に関する

- 研究，ランドスケープ研究，69（5），pp. 383－388，2006
- 5) 秋本 悠喜・桜井 慎一：教訓を後世に伝承する津波碑の保存整備に関する研究，沿岸域学会誌，Vol. 28 No. 3，pp. 29－40，2015
 - 6) 松尾豊：パブリックアートの展開と到達点，水曜社，p162，2015. 3
 - 7) 佐藤義夫：野外彫刻マニュアル-まちにアートを-ぎょうせい，1994. 2

著者紹介

木下 哲人（正会員）

日本大学生産工学部創生デザイン学科（千葉県習志野市泉町1-2-1）平成17年東京藝術大学美術学部博士後期課程修了，平成24年日本大学生産工学部勤務，博士（美術），社団法人日本建築美術工芸協会，日本デザイン学会，環境芸術学会会員。

中澤 公伯（正会員）

日本大学生産工学部創生デザイン学科（千葉県習志野市泉町1-2-1），平成14年3月日本大学大学院生産工学研究科建築工学専攻博士後期課程修了，同年4月株式会社環境形成研究所に入社，平成16年日本大学生産工学部勤務，平成29年イタリア・ボローニャ大学客員研究員，博士（工学），建築学会会員。

鈴木 友理（非会員）

株式会社リヒトラブ（大阪市中央区農人橋1-1-2 2），平成8年生まれ，平成31年日本大学生産工学部創生デザイン学科卒業。

對馬 成美（学生会員）

日本大学生産工学部創生デザイン学科 学生（千葉県習志野市泉町1-2-1），平成10年生まれ。

A Study on Location Characteristics of Monuments in the Coastal Area of Chiba Prefecture

Tetsuhito KINOSHITA, Kiminori NAKAZAWA, Yuri SUZUKI and Narumi TSUSHIMA

ABSTRACT : Monuments are installed in parks and other outdoor locations as memorials, to decorate structural objects, and as a deliberate part of landscaping; they also have the important function of acting as street furniture and enhancing the walkability of public spaces. Outdoor monuments are an especially effective and important attraction in parks in coastal areas, which are not as accessible or vibrant as those in urban areas. This study investigated the features of 69 monuments installed in the green areas of parks on the coast of Chiba Prefecture together with the characteristics of their locations and an analysis of their correlations.

KEYWORDS : Monument, street furniture, location characteristics, park green space